

【達成見込みの評価について】

- ◎ 令和2年度において目標値を達成する見込み
- 令和2年度には目標達成には至らないが、令和元年度より向上する見込み
- △ 令和2年度には目標達成には至らず、令和元年度と同様または悪化する見込み
- 指標の数値を把握できないなど

基本目標 1 安定した雇用を創出する

基本的方法

若い世代の就職に伴う転出に歯止めをかけるためには、市内での雇用機会を拡充することが必要です。このため、市内企業と連携し、安定した雇用の創出を目指します。また、市内の商工業を支えている中小企業に対して、企業競争力の向上や安定した経営の実現に向けた支援を行うことにより、地域経済の活性化を図ります。

数値目標

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
目数 標値	市内従業者数	18,379人	19,100人	-	-	-	-	- (R2.6.30 速報値公表)	実施中 (未達成)	○

施策 1 産業団地進出企業との連携と市内事業者への支援

現在、圏央道（首都圏中央連絡自動車道）幸手インターチェンジ東側地区において、埼玉県企業局との共同事業により、幸手中央地区産業団地整備を進めています。この産業団地への立地企業と連携し、市民の雇用促進を図ります。また、既存の市内事業者及び新たに市内で起業する事業者に対しては、商工会と協力して、国・埼玉県の制度等を有効に活用し、経営力向上への支援をします。

## 重要業績評価指標（KPI）（「様式2」より抜粋。以下、同じ。）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
K P I	幸手中央地区産業団地内における従業員数	-	700人	-	-	328人	604人	582人	実施中 (未達成)	○

### 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
幸手中央地区産業団地立地企業への奨励措置	・操業を開始した企業に対し、施設設置奨励金を6社に、雇用促進奨励金を6社に交付した。	・幸手中央地区産業団地企業誘致条例に基づき、施設設置、雇用促進、障害者雇用促進、水道加入分担金相当額奨励金を交付する。

## 施策2 市内雇用の促進

若者などの雇用の定着を促すとともに、女性や高齢者など働く意欲の高い人への就職を支援し、市内における雇用の拡大を図ります。

## 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
K P I	就労支援セミナー・相談会の実施回数	-	累計5回	-	県と共催 3回 国と共催 2回 (累計10回)	県と共催 2回 国と共催 14回 (累計26回)	県と共催 1回 国と共催 14回 (累計41回)	国と共催 10回 (累計51回)	実施中 (達成)	◎

### 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
就職希望者へのハローワーク（公共職業安定所）や埼玉県など関係機関と連携した求人情報の提供	・「幸手市ふるさとハローワーク」により、就業相談や求人等に対する支援が図られた。	・「幸手市ふるさとハローワーク」と連携し、求人等の情報提供などに努める。

## 施策3 地域農業の振興

農業経営に対する支援、後継者の育成・支援、新たな担い手の育成など、安定して農業が続けられる基盤を整えます。また、幸手産特別栽培米を積極的にPRしていくとともに、幸手産農産物を活用した付加価値の高い農産加工品の研究開発を支援します。

## 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
K P I	認定農業者数	23経営体	30経営体	25経営体	28経営体	30経営体	34経営体	34経営体	実施中 (達成)	◎
K P I	特別栽培米作付面積	2,984a	3,350a	3,368a	3,762a	3,632a	4,201a	2,396a	実施中 (未達成)	○

## 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
ふるさと納税の返礼品として幸手産特別栽培米を活用してPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外に住所を有するふるさと納税寄附者に対し、幸手産特別栽培米コシヒカリを返礼品として114人に贈呈した。</li> <li>・特別栽培米コシヒカリと他の品種を併せて返礼品として提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税寄附者に対し、引き続き返礼品として幸手産コシヒカリをはじめとする幸手産米を用意し、ふるさと納税の機会を通じてPRを実施していく予定であるが、米の数量等返礼品の内容をどのようにするかが課題である。</li> </ul>

## 基本目標 2 新しいひとの流れをつくる

### 基本的方法

市内には、権現堂堤や日光街道幸手宿をはじめ、さまざまな観光・歴史・文化資源があります。これらの資源を有機的につなげることにより、幸手市を訪れた人が、まちなかの回遊を楽しむことができる基盤を充実させ、交流人口の増加を目指します。また、定住促進に向けて、「市の顔」である駅舎の整備や、市の魅力を広く発信できるシティセールス等を推進します。

### 数値目標

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
目数 標値	権現堂年間観光客数	188.5万人	195万人	210.1万人	181.1万人	201.2万人	224.8万人	207.9万人	実施中 (達成)	◎

### 施策 1 幸手市の特性を活かした観光振興

主要な観光資源である権現堂堤、市営釣場（神扇池）、権現堂調整池（行幸湖）や日光街道幸手宿などの市内の名所、史跡と商店街、公園、幸手駅などを結ぶ観光ルートを有機的につなげ、交流人口の増加を目指します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
K P I	観光協会ホームページアクセス数	59.8万件	65万件	65.2万件	82.8万件	87.3万件	65.5万件	76.2万件	実施中 (達成)	◎

### 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
物産振興の推進	・市内事業所で製造又は生産された製品の魅力を発信し、知名度の向上及び地域の活性化を図るため「幸手ブランド認定要綱」を策定した。	・土産品、食べ物、グルメなどのブランドに認定制度について検討する。

## 施策2 駅周辺の整備

市の玄関口にふさわしい街並みを形成し、市のイメージアップを図るため、東西自由通路の整備に伴う幸手駅の橋上化や幸手駅西口土地区画整理事業地区内の整備を推進します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
KPI	東西自由通路及び幸手駅舎の整備進捗率	1.8%	100%	2.43%	15.15%	22.64%	96.40%	100%	完了 (達成)	◎
KPI	幸手駅西口土地区画整理事業の整備進捗率	2.3%	33.6%	4.93%	8.51%	19.01%	29.91%	34.23%	実施中 (達成)	◎

### 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
東西自由通路及び幸手駅舎の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮駅舎等の解体工事を行った。</li> <li>ホーム上家等の鉄道関連施設の復旧工事を行った。</li> <li>フェンス等の安全施設の設置工事を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度をもって全ての工事が完了した。</li> </ul>

## 施策3 移住・定住の促進

市内への定住促進を図るため、親・子・孫からなる3世代の同居・近居の支援や住宅リフォームの支援をします。また、利活用可能な空き家の登録・情報提供を行う、空き家バンクを設置します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
KPI	しあわせ3世代ファミリー定住支援事業の利用者	—	累計18人	9人	7人 (累計16人)	12人 (累計28人)	10人 (累計38人)	7人 (累計45人)	実施中 (達成)	◎

## 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
3世代ファミリーの定住支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3世代ファミリー定住支援事業補助金の交付</li> <li>・3世代ファミリー定住支援事業のリーフレットを作成し、公共施設、不動産会社、イベント等で配架、配布、事業の周知を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度から1件あたりの上限額を30万円から15万円に変更した。申請人数について令和元年度は減少していることもあり、今後の事業内容について検討する必要がある。</li> </ul>

## 施策4 シティセールスの推進

幸手市の魅力を広く市内外に発信し、「幸手を知ってもらおう」、「幸手に来てもらおう」ことにより、交流人口や定住人口の増加を目指します。また、市民には、幸手を「もっと」知ってもらおうことにより、地域への愛着を深め、定住化を促進します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI	当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
KPI 人口の社会動態の減少数	274人	137人	93人	67人	145人	214人	93人	実施中 (達成)	◎
KPI 市ホームページの年間アクセス件数	178,696件	190,000件	238,435件	199,987件	172,326件	252,303件	618,906件	実施中 (達成)	◎

## 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
ホームページ等を活用したシティセールスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの情報をアプリによって配信したほか、市公式フェイスブック・ツイッターにて、情報発信を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民によるPRサポーターを活用し、情報発信の強化を図る。</li> </ul>

## 基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### 基本的方法

子育て世代の定住化を促進するとともに、合計特殊出生率を高めることにより人口の自然増を実現するためには、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることができる環境を整える必要があります。

そのため、結婚から子育てまで切れ目のない支援を行い、質の高い子育て環境・教育環境等を提供することにより、「子育て日本一」の自治体を目指し、若い世代の定住を促進します。

### 数値目標

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
目数 目標値	合計特殊出生率	1.06	1.21	1.16	0.97	0.98	0.83	0.83	未実施	△

### 施策 1 出会いの機会の創出

若い世代の結婚の希望をかなえるため、市の地域資源を有効に活用した婚活交流イベントを開催し、男女の出会いの場を提供します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
K P I	カップル成立数	—	累計21組	5組	3組 (累計8組)	3組 (累計11組)	8組 (累計19組)	13組 (累計32組)	実施中 (達成)	◎

### 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
婚活交流イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度は、市主催により「恋するTeaパーティー」を開催した。</li> <li>「SAITAMA出会いサポートセンター」の自治体会員となり、市民のセンター主催のイベント等への参加のための利用登録料が減額されるとともに結婚支援活動の幅が広がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市主催の婚活支援事業は、男性に比べて女性の申込が少ない。</li> <li>近隣市町で連携し広域的な結婚支援事業を展開するため、結婚支援に係る協定を締結した3市3町による事業を実施するとともに、「SAITAMA出会いサポートセンター」を活用し、若い世代の結婚の希望をかなえる機会を増やしていく。</li> </ul>

## 施策2 産前・産後等のサポート体制の充実

安心して子どもを産み育てることができるよう、産前・産後等のサポート体制の充実を図ります。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
KPI	赤ちゃん訪問の実施率	94.5%	100%	93.8%	96.6%	97.6%	96.7%	94.7%	実施中 (未達成)	○
KPI	不妊治療助成申請者数	—	累計150組	17組	32組 (累計49組)	25組 (累計74組)	29組 (累計103組)	30組 (累計133組)	実施中 (未達成)	◎

### 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
母親学級、両親学級の実施	・年間4コース（1コース4回）実施。参加者数延べ210人だった。	・実施内容が何年も同じとなっており、内容が現状に合っているか、対象者のニーズにあっているか検討が必要なため、医療機関が実施するパパママ教室の現状についてアンケートを実施。令和2年度は集計結果を基に市町村がやるべき内容について検討していく。

## 施策3 子育てしやすい環境の整備

女性の働き方やライフスタイルの変化に対応できるよう、子育てしやすい保育環境の整備を行います。また、保護者が子育てに対して抱える不安や負担を少しでも和らげるよう、子育てにかかる負担を軽減します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
KPI	保育所待機児童	0人	0人	7人	11人	3人	0人	0人	実施中 (達成)	◎
KPI	防災士資格を取得した保育士数	—	6人	10人	0人 (累計10人)	0人 (累計10人)	0人 (累計9人)	1人 (累計10人)	完了 (達成)	◎
KPI	発達の気になる子に対応した加配保育士の配置	—	3人	8人	4人	3人	4人	3人	実施中 (達成)	◎
KPI	保育の提供体制の整備	370人	463人	370人	463人	463人	463人	523人	実施中 (達成)	◎
KPI	保育ステーションの設置数	—	1箇所	—	—	—	—	0箇所	実施中 (未達成)	△

## 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
学校給食費（2人目以降）の補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小・中学校および特別支援学校に通う2人目以降の給食費補助の実施。</li> <li>補助額 20,353,790円（752人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度についても同様に事業を実施する予定。</li> </ul>

### 施策4 教育環境の充実と学力の向上

学校教育環境の整備を行うことで、児童・生徒の自ら学ぶ意識が高いまちを目指すとともに、働く保護者を支援するため、放課後児童クラブ室の充実を図ります。平成29年度には、市内全小学校区に放課後児童クラブ室を開設します。

また、基礎・基本の指導の充実により、学力向上を図ることで、市外の人からも「幸手市での教育」を選んでいただけるような教育を推進します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI	当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
KPI 放課後児童クラブ室の開設	7箇所	11箇所	5	9箇所	11箇所	11箇所	11箇所	実施中 (達成)	◎
KPI さってアフタースクール開催回数	—	累計500回	279回	527回 (累計806回)	545回 (累計1,351回)	486回 (累計1,837回)	450回 (累計2,287回)	実施中 (達成)	○
KPI さってアフタースクール参加人数	—	累計10,000人	3,317人	14,403人 (累計17,720人)	12,034人 (累計28,754人)	8,397人 (累計37,151人)	11,503回 (累計48,654人)	実施中 (達成)	○

## 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
ICT環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>校務の効率化を図り、児童生徒と触れ合う時間を創出するため、統合型校務支援システムを導入するとともに、校務用パソコンの入替を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型提示装置及び可動式コンピュータ（タブレット型パソコン）等の導入を進める。</li> </ul>

## 基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

### 基本的方法

だれもが安心して居住することができるまちとするため、交通利便性の向上や地域医療体制の充実、市民が主体となる地域課題の解決に向けた協働の取組への支援、地域間連携を図ることにより、まちの活性化を目指します。

また、高齢化の進行に対応するため、高齢者がいつまでも生きがいを持ち、心身ともに安心して暮らすことができるよう健康づくりを支援するとともに、地域体制を整備します。さらに、今後、予想される人口減少を見据え、公共施設のあり方を検討していきます。

### 数値目標

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
目数 標値	幸手市に住みやすいと思う市民の割合	60.9% (平成24年度)	70%	—	—	71.3%	(平成29年度調査結果 71.3%)	(平成29年度調査結果 71.3%)	実施中 (達成)	◎

※幸手市総合振興計画基本計画策定のための市民意識調査より

### 施策 1 交通利便性の向上

圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の開通及び幸手インターチェンジの開設により、市内の道路交通の利便性は向上しています。今後も、道路交通や鉄道、バスなどの公共交通機関の利便性を高め、市内外に円滑に移動できるまちを目指します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
K P I	市の公共交通の満足度	24.5% (平成24年度)	30%	—	—	6.6%	(平成29年度調査結果 6.6%)	(平成29年度調査結果 6.6%)	実施中 (未達成)	△
K P I	都市計画道路整備率	58.3%	79%	60.9%	61.3%	61.3%	62.0%	62.4%	実施中 (未達成)	○

※幸手市総合振興計画基本計画策定のための市民意識調査より

## 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
路線バスの路線・本数拡充の要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通会議を定期的に行い、各公共交通機関の意見聴取に努めた。</li> <li>・民間バス会社との協議の結果、幸手駅西口から久喜駅東口までの路線バスが運行となることが決まった。（令和2年5月1日から運行開始）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年開催される地域公共交通会議を通し、市民の要望を伝えていく。</li> <li>・杉戸高野台駅から日本保健医療大学までのルートについてウェルス幸手までの延長を民間バス会社へ要望中であり、今後も引き続き要望していく。</li> </ul>

## 施策2 地域医療体制の充実

市内の多様化する医療ニーズに対応できるよう、医師会などの関係機関と協力し、医療体制の充実を図ります。また、「とねっと」（埼玉利根保健医療圏における地域医療圏ネットワークシステム）を活用し、医療資源の効率的な運用を目指します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
K P I	とねっとの登録者数	2,326人	4,000人	2,830人 (H28.3.31現在)	3,090人 (H29.3.31現在)	3,283人 (H30.3.31現在)	3,739人 (H31.3.31現在)	4,002人 (R2.3.31現在)	実施中 (達成)	◎

## 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
救急医療体制（夜間・休日）の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次救急医療として幸手市、杉戸町在宅当番医制による休日診療の実施。</li> <li>・天皇即位に伴う大型連休における休日診療の実施。</li> <li>・幸手市冬期休日夜間診療の実施</li> <li>・2次救急医療として、東部北地区（6市2町）の病院輪番制による夜間・休日診療の実施</li> <li>・母子事業における小児に対する適正医療に関する普及啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次救急医療の担い手である輪番病院に搬送される患者が増加し、輪番病院への負担増大や勤務医の疲弊等が心配されている。また、搬送された半数は軽症であり、適正受診の普及啓発が必要。</li> <li>・輪番病院の負担軽減・救急医療全体の機能維持が課題。</li> </ul>

## 施策3 高齢者の生きがいきつくりと連携体制の充実

高齢化が急速に進行する中、高齢者がいつまでも生きがいを持ち、心身ともに健康で安心して暮らせるよう、健康づくりや生きがいきつくりを支援します。

また、地域包括ケアシステム（高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して生活を続けられるように、高齢者のニーズや状態に応じ、医療や介護、見守りなどの多様

なサービスが包括的に提供される地域での体制)の構築を推進し、地域での見守り体制を充実します。

### 重要業績評価指標 (KPI)

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
KPI	生きがいがあると思う高齢者の割合	84.1%	90%	-	0.625	-	(平成28年度調査結果)62.5%	61.4%	実施中(未達成)	△

### 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
健康ポイント事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度健康マイレージ新規参加者458人 累計参加総数1,584人(令和2年3月末日現在)</li> <li>令和元年度市独自ポイント達成者462人。うち、景品(特別栽培米)発送者46人。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度末までに累計参加総数2,000人をめざす</li> </ul>

### 施策4 地域のコミュニティの活性化・防災防犯体制の強化

高齢化の進展や災害への対応など、今後、地域での助け合いが求められる局面がますます増加していくと予測されます。このため、少しずつ希薄化している地域コミュニティの活性化を図るとともに、市民による自助・共助を通して、地域での防災活動や防犯活動が充実し、安心して暮らせる体制づくりを推進します。

### 重要業績評価指標 (KPI)

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
KPI	自主防災組織の組織率	55%	65%	58%	58%	60%	60%	62%	実施中(未達成)	○
KPI	全避難所への授乳テントの備蓄	-	27箇所	27箇所	27箇所	27箇所	27箇所	27箇所	完了(達成)	◎
KPI	防災訓練の参加者数	648人	累計2,500人	H27実績456人(累計456人)	H28実績399人(累計855人)	H29実績なし(累計855人)	H30実績329人(累計1,184人)	R1実績0人(累計1,184人)	実施中(未達成)	○

### 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
防災士資格の取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>4人の市職員が防災士の資格を取得した。</li> <li>自主防災組織の4人が防災士の資格を取得した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き防災士の資格取得者を増やしていく。</li> <li>2日間の講習のため、自主防災組織で防災士の資格を取得できる人が限られてしまう。</li> </ul>

## 施策5 公共施設アセットマネジメントの推進

今後、予想される人口減少を見据え、公共施設の機能の見直しや再編・集約など、時代の変化に応じたあり方を検討していきます。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	進捗	達成見込み
K P I	公共施設等総合管理計画の策定	—	策定 (平成28年度)	—	策定済	—	策定済 (平成28年度)	策定済 (平成28年度)	完了 (達成)	◎

### 令和元年度の主な取組内容

令和元年度の主な取組実績		課題など
公共施設等総合管理計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>幸手市公共施設等総合管理計画策定及び固定資産台帳整備業務委託を行い、策定を完了した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等個別施設計画の策定に伴い平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画の更新を検討する必要がある。</li> </ul>